

■米国：規制機関、インディアンポイント2、3号機の運転期間延長を認可

米国原子力規制委員会(NRC)は2018年9月17日、インディアンポイント2、3号機(PWR、2号機106万kW、3号機107万kW)の運転期間延長を認可した。これより2号機は2024年4月30日、3号機は2025年4月30日まで運転可能となった。同プラントを所有・運転するエンタジー社は2007年7月、20年間の運転期間延長を申請したが、当初の運転期間(2号機：2013年、3号機2015年)を過ぎても認可が下りず、行政手続法およびNRC規定に基づき運転を継続していた。エンタジー社、ニューヨーク州および環境団体(Riverkeeper)は2017年1月、2号機を2024年、3号機を2025年までに閉鎖することで合意し、エンタジー社は運転期間延長申請をこれらの年に一致するよう補正していた。